

泉大津市スポーツ施設運営委員会（第1回）

■第1回会議の議事概要

日時：令和3年6月28日（月）午後2時～午後3時30分

場所：泉大津市役所職員会館3階集会室

出席：富山委員、原田委員、木野委員、森田委員、櫻澤委員

公開の有無： 公開（傍聴者：なし）

議 題

- 1 委員長選出
- 2 委員会の進め方等について
- 3 泉大津市スポーツ施設事業報告の検証
 - 1) 令和2年度泉大津市スポーツ施設事業報告
 - 2) 事業報告内容の検証（質疑及び意見交換）
 - 3) その他

【概要】

1 委員長選出

【議事進行】

委員の互選により委員長として富山委員が選出。

富山委員長の指名により、木野委員を委員長職務代理者に選出。

2 委員会の進め方について

【議事進行】

事務局より本委員会の進め方について説明した後、質疑、意見交換を行った。

【主な意見等の内容】

質問・意見等特になし

3 泉大津市スポーツ施設事業報告の検証

【議事進行】

指定管理者より令和2年度の事業報告について説明した後、質疑、意見交換を行った。

【令和2年度の事業報告内容】

指定管理者受託初年度が終了したが、新型コロナウイルスの影響下の運営の中、

市民にスポーツに親しみをもってもらえるよう、施設運営を進めてきた。

以下、事業報告書（別添）に基づき主要な活動部分についての報告。

(P2) 管理運営方針

多くの事業が新型コロナウイルス感染拡大の影響で見送られることになったが、体育館や屋外施設のイベントを年5回実施し、まずは施設を知っていただく工夫を行った。

快適な利用空間については、トレーニングマシンのリニューアルを実施し、環境整備を行った。またトレーニング室利用前に受講必須であった講習会の実施を省略し、新規利用者の獲得をめざした。結果、利用者は微増となった。

(P3) 運営実施体制・職員の配置について

6月以降、退職者が出た場合の対応等のために新規採用を行い、充実した人員体制の中での運営を行った。

(P4) 研修計画

集団研修がしづらい状況下であったが、職員研修を実施していった。

(P5) 施設の効用の最大限発揮について

認知へのしかけについて、新たな利用者層の確保として、FMいずみおおつへの出演により、体育館利用者から聞いたよ、とお声掛けいただくことがあった。SNSについてもフェイスブックのフォロワー数は80名程度、インスタグラムのフォロワー数が370名まで増えた。スポーツフェスティバルというイベントやクリスマスイルミネーションを実施した。

(P6) 利用促進に向けた取組

夏休み期間が短かった子ども達の思い出作りに、と古池公園運動場で手持ち花火大会を実施した。助松公園プールでのSUPイベントについては利用者の満足度の高いものであったと考えている。

(P7) スポーツ教室の実施

教室については、令和元年度、市が実施していたスポーツ教室の継続と、ティップネスの新規事業としての教室を実施してきた。市の実施してきたスポーツ教室は安価での実施ということもあり引き続きたくさんの方に利用していただいた。自主事業として行った新規の教室については、コロナ禍の中で、満足に実施することが出来なかったというのが実情である。

(P8) 施設利用がしやすい環境の整備

トレーニング室の利用については、初心者には様々なトレーニングメニューの提供を行った。また、中級者から上級者向けにパーソナルトレーニングの導入も行うことで、利用者層の拡大を図る取組を行ってきた。

(P9) 施設管理について

施設管理について、体育館は、スタッフが日常的な巡回清掃などを行い、不具合箇

所の早期発見に努めてきた。また、屋外施設については、管理委託業者との連携をはかり不具合箇所の早期発見に努めてきた。

(P10) コスト縮減について

コスト縮減について、換気をしながらの空調利用などから、電気使用量は昨年度を大きく上回る結果となった。安全管理については、泉大津消防の協力を元に訓練を実施した。

(P11) 地域団体との連携・協働について

地域連携については総合型地域スポーツクラブとの連携について、事業連携の提案や、合同イベントの開催、定例会の参加などを通じ、連携を図ってきた。今年度も定例会への参加を継続し、情報共有、事業連携を図っていきたいと考えている。

(P13) 令和2年度収支報告書

コロナ禍の影響を受け、体育館利用料、スポーツ教室受講料の減収が大きかった。教室が少なかった分、講師謝礼の支出は少なくなったが、アルバイトスタッフの増員や、トレーニング室のリニューアル工事、体育館駐車場の業務委託分などの増で、支出額は計画値と大差がなかった。

【主な意見等の内容】

職務代理者

指定管理者に期待することは、地域のスポーツ振興、「する」、「みる」、「支える」人を増やす核となる施設運営である。総合型地域スポーツクラブの定例会への参加は、令和3年度からのものであり、アドバイザーとして自立支援をしてもらうことになった。令和2年度はコロナ禍の中でなかなかうまくいかなかった部分があるので今後の連携・支援を大いに期待しているところである。

指定管理者

縦割りなことは考えずに、お互いに相乗効果が図ることができればと考えている。情報共有をして、連携協力を進めていきたい。

委員

①新型コロナウイルスの影響について、施設そのものの臨時休業や営業時間の短縮などの措置はあったのか。今後も引き続き感染防止策は必要と考えるが、消毒液など必要になった消耗品等の費用は？

②市民への利便性の向上（P3）FMいずみおおつの利用やモニタリングはどのようなアンケートをし、市民の満足度をあげる指標とするのか。

③収支関係 収入の減少が著しいが、支出についてはほぼ計画通り。アルバイトの増員や、トレーニング施設の入替費用、駐車場の管理、トレーニングマシンのリースの契約期間と、契約の内容について教えて欲しい。

指定管理者

①コロナウイルスの影響による営業体制について、R2.4.8～5.21まで休業。屋外は5.15まで休業としていた。また1.14～2.28までは20時までの時短営業と新規の予約受付をストップしていた。コロナ対策の消耗品関係は消耗品に323,000円を計上している。

②認知への仕掛けについて、メールマガジンよりもSNSを利用する方が効果的だと感じた。ケーブルテレビではなくFMいずみおおつになったのは、FMいずみおおつの方から声をかけていただいたこともあり、実施に至ったもの。

アンケートについては、トレーニング室の利用について覆面調査を実施した。来年度も引き続き実施し、スタッフの対応改善などに努めていきたいと考えている。

③リース契約なので、途中解約は基本できない。リース期間は3年である。継続してマシンを使用したいという場合は、再リースで契約をすることになる。

委員

①OZUSポ（総合型地域スポーツクラブ）の活動、趣旨とは

②利用状況中にある利用可能日数の表記の仕方は？収支が-3,300万円、これだけのマイナス部分についてはコロナがおさまった場合に採算はとれるものなのか。

職務代理者

①OZUSポは設立して4年目。OZUSポのコンセプトは泉大津の住民が色々なスポーツを色々な世代で実施すること。実績としては、キッズダンス、バドミントン、太極拳、ボウリングなど。小学生から75歳くらいまで。会員数は多い時で75名ほどいたがコロナウイルスの影響などもあり45名程度となっている。

指定管理者

②利用可能日数は、コロナウイルスによる休館日数を加味せず記載している。体育館の使用料は計画に比して大きな減収であった。たくさんの人に利用していただきたいという思いの中で、計画上大きな数値をあげた部分もある。今後の収支の改善について、コロナ禍が続く中で、大きな回復は見込めないが、トレーニングジム利用者を徐々に増やしていくこと、外注委託を減らして、自前のスタッフで対応するなどし、コスト削減を行い、収支改善に向けて進めていきたいと考えている。

委員長

OZUSポは、地域の人が、様々な世代の人が色々なスポーツを実施し、交流の場になることを目指している。自立した運営のためには、民間の運営のサポートも期待しているところ。

委員

自分が所属している団体も、メンバーの確保や組織運営に苦労している状況である。

指定管理者

コロナ禍でない時に作成した事業計画に近づけることは困難。人流を増やせない、アフターコロナでどういことができるのか、というのを考えないといけない。例えば屋外施設の稼働は増えている。

委員

スポーツ施設の環境でいうと、テニスコートは市有面積に比して充実したコート数はあるように感じるが、劣化が激しい。人工芝のオムニコートが主流としてあるが、ハードコートのデコターフのような思い切った整備ができると、大会などでも盛り上がって誘致できるのかな、でもそれだけのコストをかけることは難しいのかなと思っている。

委員長

参加人数が増えて盛り上がりを見せていく、という考え方は必要だと思っている。

委員

スポーツ推進委員で市内でイベントを企画するさいに、スポーツ施設や公園に付帯しているトイレの環境が良くないかな、殺風景だなと感じることがある。また、全体的に利用団体が掃除や整備を実施するための用品が少ない、と感じる。スポーツ推進のために、色々と施策を考えているときに、市のあしゆびプロジェクトの取組などに絡めてスポーツ推進を図っていくことも重要だと感じる。

事務局

スポーツ施設の運営で、3公園の運動場だけでなく、付帯施設についても庁内で連携をとって使いやすい環境に改善していこうとすることは必要。維持管理の面で団体に協力いただくための備品等の充実を検討してもらう。

指定管理者

トイレについても、世の中的には防犯の観点などから、公衆トイレは縮小傾向である。イベント時には、近くのコンビニに協力を求めることができる環境づくりなどをしていくことも大切。

職務代理者

管理体制の中で、シフト制、非正規雇用の方が多い中で情報共有などで気を付けている点はあるか。

指定管理者

事務所内で連絡ノートなどで情報共有を図っていることと、朝礼、昼礼、終礼を実施している。

委員長

事業報告のP6、公園イベント実施による新たなコミュニティ体制についての記載があるが、どのようなものか。

指定管理者

イベント参加者が横のつながりをもってもらい、地域の発展につながることを期待しており、手持ち花火大会などの実施は効果的であったと感じている。

委員長

上記のようなスポーツだけにとらわれない事業への取組は大切。スポーツの部分とひと周り外側の部分の取組に期待する。今日は令和2年度の事業報告をいただいたが、令和3年度の事業についてこういう所に力を入れていきたいというはあるか。

指定管理者

今年度より、全てのスポーツ教室を指定管理者の自主事業として行っていく。教室数としては週36回。より多くの方に体育館に足を運んでいただけるような取組を進めていきたい。また、スポーツの外側部分の取組として、スポーツフェスティバルの実施。実施内容としては、バルーンアートや折り紙教室、方言を使ったラジオ体操などを考えている。

以上